

中華書局編輯

原則之集

第八篇

中華書局



特65
272

軍事學指針社編纂

原則之葉

第八篇

東京
軍事學指針社

明治
44.11.25
丙寅

原則之葉 第八編目次

給 養

- 定 義……………一頁
- 舍主ノ供給糧秣ニ依ル給養法……………一
- 定義……………一
- 此給養法ノ利益……………二
- 戰地此給養法ノ實施困難ナル理由……………三
- 此給養法ヲ實施シ得ル場合……………三
- 此給養法實行ニ關スル區別……………四

○人民敵意ヲ有スルトキ.....五

○合同供出法.....六

●軍隊ノ携行スル糧秣ニ依ル給養法.....七

○定義.....七

○携帶糧秣ノ使用ニ關スル注意.....八

○携帶糧秣補充.....九

●大行李糧秣使用ニ關スル注意.....九

○大行李糧秣ノ補充.....一〇

●糧食縦列ノ糧秣ヲ使用スル場合.....二

○糧食縦列ノ補充.....三

●倉庫ノ糧秣ニ依ル給養法.....三

○定義.....三

○倉庫ノ位置.....三

○倉庫ノ糧秣ニ依ル給養法ノ利害.....四

○此給養法ヲ實施シ得ル場合.....五

●軍隊ノ直接徵發セル糧秣ニ依ル給養法.....七

○定義.....七

- 此給養法ノ害……………二七
- 此給養法ヲ實施スル場合……………二八
- 徵發ニ關スル原則……………一九
- 代金交附ニ依ル給養法……………一九
- 定義……………一九
- 此給養法ノ利害……………二〇
- 此給養法ヲ實施スル場合……………二二
- 戰鬪間ノ給養……………二三
- 準備……………二三

- 第一線部隊……………二四
- 後方部隊……………二五
- 高等司令官……………二六
- 空縦列ノ補充……………二六
- 現在調辨ノ利用……………二九

原則之棊

第八編

給養

●定義

給養トハ戦闘力維持ノ目的ヲ以テ人馬ニ給與スルヲ謂フ。

●舍主ノ供給糧秣ニ依ル給養法

○定義

舍主ノ供給糧秣ニ依ル給養法トハ舍主ヨリ糧秣ノ供給ヲ受ケ之ニ依リ軍隊ノ給養ヲ實施スルヲ謂フ。

○此給養法ノ利益。

- 一、携行糧秣ヲ節約ス。
- 二、給養實施ヲ迅速ナラシム。
- 三、軍隊ノ勞役ヲ省略ス。

此給養法ノ利益右ノ如クニシテ、軍事並經濟上其利スル所頗ル大ナリ。

故ニ情況之ヲ許セハ成ルヘク此方法ヲ用フルヲ良トス。

○戰地此給養法ノ實施困難ナル理由。

- 一、戰地ニ於テハ隨所必ス富饒ナル能ハス。
- 二、假令、偶富裕ナル土地ニ遭遇スルモ許多ノ場合ニ於テ住民現存セス。
- 三、作戰上ノ情況ヲ之ヲ用フヘキ機會ヲ制限ス。
(殊ニ移動戰ニ於テハ殆ト實行シ難キヲ常トス)

○此給養法ヲ實施シ得ル場合。

- 一、内地戰ニ在テ、敵ニ遠ク廣舎營ヲナセルトキ。

二、時間ノ餘裕充分ニシテ情況之ヲ許ストキ。
等ニ實施シ得ルニ過キス。

○此給養法實行ニ關スル區別。

- 一、舍主ノ調理セル食餌ヲ供給セシムルモノ。
 - 二、舍主ノ提供セル糧秣ヲ軍隊自ラ炊爨スルモノ。
- 而シテ右二者ノ中何レニ依ルヘキカハ時ノ情況ニヨリ、部隊長適宜之ヲ規定スヘシト雖、(一)ハ戰地ニ於テ實際之ヲ用キ難キモノナリトス。

○人民敵意ヲ有スルトキ。

此給養法ヲ實施セントスルトキ、人民軍隊ニ反背スルノ意アルトキハ其ノ時ノ形勢緩急ノ度ニ從ヒ、「徵發ノ嚴法」ニ依リ以テ給養ヲ完全ニセサルヘカラス。

斯クノ如キハ縦ヒ徵發ノ方法ヲ籍ルコトアルモ、是レ畢竟スルニ舍主ノ供給義務ヲ遂行セシメントスル一手段ニ過キサルモノニシテ、依然、舍主ヨリ糧秣ノ供給ヲ受クルヲ本旨トス。

○合同供出法。

舍主ヨリ供給スル糧秣不充分ニシテ定量ニ充タサルトキハ其直屬上官直ニ舍主ニ就テ之ヲ補足セシメ若シ舍主其補足ヲ爲シ能ハサルトキハ隊長若クハ舍營司令官之ヲ市町村吏ニ要求スルモノタルハ、野外要務令第二百九十二ノ明示スル所ナリト雖

地方ノ情況ニヨリ、軍隊ハ豫メ糧秣ノ一部例ヘハ精米又ハ大麥等ヲ舍主ニ交附シ、若クハ市町村ニ於テ「合同供出ノ方法」ヲ設ケテ給養ヲ完全ニスルヲ要スルコトアルモノトス。特ニ馬糧ノ如キハ舍主各個ノ負擔ヲ以テハ到底之ヲ供給スル能ハサルヲ常トス、故ニ豫メ市町村吏ト交渉ヲ遂ケ給養ニ支障ナカラシムルヲ要スルコト多キ

モノトス。

●軍隊ノ携行スル糧秣ニ依ル給養法

○定義

軍隊ノ携行スル糧秣ニ依ル給養法トハ、携行糧秣大行李若クハ糧食縦列ニ積載スル糧秣ヲ以テ給養ヲ實施スルヲ謂フ。

○携帶糧秣ノ使用ニ關スル注意。

一、携帶糧秣ハ 非常ノ場合 全ク他ニ給養法ナク已ムヲ得サルトキ ニ非サレハ之ヲ用フヘラス。

二、携帶糧秣ヲ使用スヘキ時ハ必ス高等司令官ヨリ命令ヲ下スモノトス。

(高等司令官ハ此他携行糧秣中、大行李糧秣又ハ縦列糧秣ノ何レヲ用フ可キヤモ適時之ヲ命令スヘキモノトス)

三、時宜ニ依リ隊長自己ノ責任ヲ以テ之ヲ用キタルトキハ速ニ其旨ヲ高等司令官ニ報告シ之ヲ補充シ置クコト。

四、各將校モ亦常ニ監視ヲ嚴重ニシテ部下人馬ノ携帶糧秣ヲ完全ニ保持スルノ責任ヲ有ス。

○携帶糧秣補充。

携帶糧秣ノ補充ハ糧食縦列ヨリスルヲ常例トス。

又、時トシテ、地方常食ヲ以テ一時代用セサル可ラサルコトアリ。

●大行李糧秣使用ニ關スル注意。

大行李糧秣ハ地方物質ニ依リ給養シ得サル場合ニ應スル豫備糧秣ナ

リ。

故ニ、移動戦ニ在テハ屢々之ヲ使用スルコトアリト雖

成シ得ル限り之ヲ愛惜セサルヘカラサルモノトス。

此糧秣ハ通常糧食縦列ノ糧秣ヲ以テ之ヲ補給セラル、場合ニ際シ各部隊長ニ於テ先ツ之ヲ使用ス。

又各部隊ハ諸種ノ給養ニ於テ、炊爨ヲシテ時機ニ後レサラシムルタメ、大行李糧秣ヲ以テ一時繰替融通シテ使用スルヲ便トスルコト少カラサルモ部隊長ノ責任ヲ以テ之ヲ行フモノトス。

○大行李糧秣ノ補充。

一、成ルヘク地方物質ニ依ルヲカムルモノトス。

(然リト雖之ニ依ル能ハサルトキハ)

二、倉庫

(若クハ)

ノ糧秣ヲ以テ之ヲ補充スルモノトス。

三、糧食縦列

●糧食縦列ノ糧秣ヲ使用スル場合。

一、大行李ノ糧秣ヲ補充スルニ他ノ方法無キ場合

軍隊ニ配與ス。

二、携帶糧秣ノ分配ヲ要スル時

三、背進ノ場合。

四、駐軍間ニ於テ積載品保存上ノ關係ヨリ新陳交換ヲ要スル等ノ場

合。

(上第三、第四項ハ糧食縦列ノ糧秣ヲ以テ直接ニ給養スル例ヲ
擧ケタルモノニシテ、斯クノ如キハ眞ニ稀ニ實施セラル、ニ過
キス)

○糧食縦列ノ補充。

一、地方物質

(若クハ)

ヨリ行フヲ常トス。

二、倉庫

三、兵站糧食縦列

ヨリ時トシテ補充スルコトアリ。

四、倉庫縦列

●倉庫ノ糧秣ニ依ル給養法

○定義

倉庫ノ糧秣ニ依ル給養トハ軍隊直接ニ倉庫ヨリ糧秣ノ分配ヲ受ケテ
給養ヲ實施スルヲ謂フ。

○倉庫ノ位置。

各部隊ハ通常自己ノ大行李ヲ倉庫ニ差遣シテ糧秣ヲ受領スルモノニ
シテ

「倉庫ノ位置」ハ

一、分配ヲ容易ナラシメ

二、大行李騎馬ノ使用ヲ適當ナラシム

ノ顧慮ヨリ。

倉庫所在地ト部隊宿營地トノ距離ヲ 半日行程以内 ニ在ラシメサルヘカラス。

之カ爲、要スレハ「支倉庫」ヲ設ケ部隊ノ糧秣受領ヲ容易ナラシムルコトアリトス。

○倉庫ノ糧秣ニ依ル給養法ノ利害。

此給養法ハ

(利) 一、最モ確實ナリ。

二、資源ヲ節約スルコトヲ得。

(害) 一、給養品ノ準備、集積ノ爲時間ヲ要ス。

○此給養法ヲ實施シ得ル場合。

利害既ニ右ノ如キヲ以テ、之ヲ實施スヘキ場合ハ

一、軍隊一地ニ永ク駐留スル時。

二、兵站地區内ニアル場合。

(備考) 右ノ他ノ場合ニ於テハ、倉庫ハ專ラ、携行ノ糧秣ヲ補充スルモノトス。但シ此ノ場合ニ於テハ直接ニ軍隊ヲ給養セシモノニ非ルヲ以テ、倉庫ノ糧秣ニ作ル給養法トハ稱スルコトヲ得サルモノトス)

三、移動戰ニ於テモ時トシテ、此給養法ヲ行フコトアルモノトス。此場合ニ於テハ左ノ事項ヲ顧慮セサルヘカラス。

(一) 給養機關ヲシテ時機ヲ失セス糧秣ヲ豫定セル倉庫ニ前送スルコト。

(二) 速ニ各部隊ニ通報シ糧秣受領ノタメ大行李ヲ差遣セシム。

●軍隊ノ直接徵發セル糧秣ニ依ル給養法

○定義

軍隊ノ直接ニ徵發(即チ部隊徵發)セル糧秣ヲ以テ、其部隊ノ給養ヲ實施スルヲイフ。

○此ノ給養法ノ害。

- 一、資源ヲ節約スルコトヲ得ス。
- 二、資源ヲ平等ニ使用スルコト能ハス。
- 三、居民ノ物質ノ濫用ヲ來シ易シ。
- 四、以上ノ害ハ將來ノ作戰ニ不利ヲ來ス。

○此給養法ヲ實施スル場合。

如上ノ害アルカタメ、此給養法ハ

- 一、舍主ノ供給力缺乏セルトキ
 - 二、給養法ノ追送方法無キトキ
 - 三、給養法ヲ購買スル方法ナキ
- 等、已ムヲ得サル場合ニ限り之ヲ行フモノトス。

○徴發ニ關スル原則。

士官學校戰術學教程參照。

●代金交附ニ依ル給養法

○定義

部隊ニ一定ノ金額ヲ給シ部隊ヲシテ其地方ノ物質ヲ適宜買収シテ自活セシムル給養法ヲ謂フ。

○此給養法ノ利害。

(利)

- 一、高等給養機關ノ事務ヲ簡略ナラシムルヲ得。
- 二、零碎ノ物資モ利用ヲ完全ニスルコトヲ得。

(例ヘハ一地ニ一師團宿營シアルトキ、該地ニ師團全部所要ノ物資ヲ保有セス、其ノ約三分ノ一ヲ貯藏セリトスルトキ、此給養法ニ依ルトキハ、其ノ物資ノ細微ニ亘リ之ヲ使用ス

ルコトヲ得ヘシ)

(害)

- 一、動モスレハ給養不確實トナルノ憂アリ。
- 二、濫費不整理等種々ノ弊害ヲ醸シ易シ。

○此給養法ヲ實施スル場合。

利害既ニ斯クノ如キヲ以テ

- 一、富饒ナル地方ニ永ク駐止スル場合。

(其地方ノ狀況ヲ詳知スルコトヲ得ヘク、且該地住民ト融和

スルニ至レルト、猶、其調辨實施時間ニ餘裕アルヲ以テナ
リ)

二、富饒ナル地方ニ獨立ノ小分遣部隊ヲ遠ク派遣セルトキ。

(即チ追送ヲ行フコト困難ナルトキ)

等、已ムヲ得サル場合ノ外、妄ニ實行セシムヘキモノニアラス。

● 戦闘間ノ給養

○ 戦闘前若干ノ携帶糧秣ヲ各人馬ニ分配増與シ之ヲ携持セシムルヲ必
要トス。

(理由)

一、戦術上ノ顧慮ヲ主トセ
サルヘカラス

故ニ、假令富饒ノ地方ニ在ルモ給養

二、戦闘部隊ハ密集シテ狭
小ノ地區ニ集結ス

品ノ調辨不可能ナリ。

三、戦闘開始後ハ携行糧秣ノ分配補充共ニ確實ナル實施困難ナル
コト多シ。

○第一線部隊

携帶糧秣ヲ使用セサルヲ得ス。

然レトモ、此際指揮官ハ夜暗ヲ利用シ後方ニ於テ炊爨準備セルモノヲ第一線ニ運搬分配シ、且成シ得ル限り温食ヲ取ラシメ以テ、士卒ノ心神ヲ慰スルト共ニ、携帶糧秣ノ費消ヲ節約スルコトニ盡瘁スルヲ要ス、即チ戦闘間大行李ヲ分進シテ炊爨セシメ温食ヲ給スルハ給養關係ヲ主トスルニ慥フト共ニ連日戦闘ヲ續行セル時機ニ當リテ、更ニ志氣ヲ鼓舞シ一層ノ努力ヲ要求スヘキ場合ニ當リテハ、後方ノ大行李ハ夜暗ヲ利用シ蔭蔽下ニ來ラシメ、至急炊爨セシメタル後直ニ後退セシメ、各部隊ニハ豫定セル時間ヲ指示シテ之ヲ受領セシメ以テ温食給與ヲ迅速ナラシムルヲ計ルヘキヲ要ス。

ス。但シ斯クノ如キ方法ハ狀況ニヨリ部隊中往々之カ受領周到ナル能ハサルコトアルヲ顧慮スルヲ要ス。

○後方部隊。

之亦努メテ携帶糧秣ノ使用ヲ節約シ、假令一部ト雖、大行李糧秣ニ依ルコトヲ計リ、猶狀況ノ許ス限り、糧食縦列ヲ招致シテ大行李ノ補充ヲ圖ルヲ要ス。

最近戰役ノ實驗ニ依レハ、夜暗ヲ利用シテ大行李ノ糧秣炊具馱馬ヲ各部隊ノ後方ニ分進セシメ、後方地區ニ於テ合同炊爨ヲナシ、或ハ此

糧秣ヲ分配シタル後 小部隊毎ニ土人ノ炊具ヲ利用シテ炊爨シ 若クハ各兵ノ飯盒ニ依リ温食ヲ取りタルノ實例頗ル多シ。

○高等司令官。

高等司令官ハ携帶糧秣若クハ大行李糧秣ヲ速ニ補充スルタメ 適時ニ糧食縦列ヲ近ク前方ニ招致シ而シテ其位置並分配時刻等ヲ各部隊ニ通報スルヲ要ス。

之カ爲、輜重梯隊ヲシテ戦闘間遠ク後方ニ停止セシムヲ常トスト雖、適時ニ之カ一部ヲ前進セシムルヲ要ス。

最近戰役ニ於テ 糧食縦列及地方車輛ヲ使役シ急速ニ野戰倉庫ノ一部ヲ前方ニ進メ各部隊ノ大行李ヲシテ直接ニ同倉庫ニ就キ補給ヲ受ケシメタルコトアリ、但シ軍隊ノ移動急速ナル場合ニ於テハ此方法モ其ノ實施困難ナルモノトス。

其他、高等司令官ノ注意セサルヘカラサルハ、單ニ眼前ノ給養ノ難易ニヨリテ 其ノ方法ヲ決定命令シ、爲ニ爾後之カ補充方法ニ煩繁及混雜ヲ來サシメサルコト之ニシテ、例ヘハ第一線部隊ニ携帶糧秣ヲ使役セシメ、後方部隊ハ大行李糧秣ニ依ラシムル如キハ必スシモ不可ナラストスルモ、之カ補充ノ關係ハ寧ロ全部前者ニ依ルヲ優レリトスルカ如キ其ノ一例ナリトス。

○空縦列ノ補充。

各部隊ニ分配ヲ完了セル空縦列ノ補充ノ遲速如何ハ直ニ大行李、携帶糧秣補充ニ影響ヲ惹起シ、其ノ結果或ハ給養ノ危殆ニ頻スルノ虞ナシト謂フヘカラス。故ニ軍司令官ハ兵站ニ命シテ適時其倉庫ヲ前進セシメ、各師團ニハ其補習ヲ受クヘキ倉庫ヲ指定シ、以テ空縦列ニ支障ナク倉庫アリ其ノ補充ヲ受クルヲ緊要トス。

○現地調辨ノ利用。

以上説述セル所ノモノハ、戦闘間追送糧秣ヲ使用スルノ一班ニシテ

戰況之ヲ許ストキハ、現地調辨ノ物資ヲ利用スルヲ圖ルヘキハ勿論ナリトス。

殊ニ、假令追送糧秣ニ依ル時ト雖、副食物、干草若クハ其代用品ノ如キハ概ネ各部隊ノ現地調辨ニ委スルヲ常トス。

是レ戦闘間ニ於テハ既ニ人馬ノ主食品ノミヲ補給スルノミニ於テ多大ノ困難ヲ感スルヲ以テナリトス。

(備考)

副食糧秣ノ一部及薪炭等ニ限り、指定量ノ範圍内ニ於テ部隊ニ

買辨セシムル方法ハ從來ノ戰役ニ於テモ多ク實施セラレタリト雖、是レ一定ノ金額ヲ交附シテ全給養ヲ委任セルモノトハ其ノ趣旨ヲ異ニスルモノニシテ、之ヲ以テ代金交附ニ依ル給養法ト稱スヘカラサルモノナリトス。

(書中ノ餘白ハ讀者カ研究事項ノ記入ニ供シタルモノナリ)

明治四十四年十一月十七日印刷
明治四十四年十一月廿二日發行

正價金拾五錢

編纂兼
發行者

東京市四谷區本村町九番地

安西理三郎

印刷者

東京市麴町區下六番町十七番地

松澤 虹三

印刷所

東京市麴町區下六番町十七番地

同勞舍活版所

不許
複製

東京市四谷區本村町九番地

發行所

菊地屋

軍事學指針社

振替貯金口座東京九〇三二番

原則 是てわのらぬか
問答

各册(定價金參拾錢
郵税金四錢)

改訂第一集
三版第二集
三版第三集
三版第四集
再版第五集

▲步兵聯隊卜其活動 全一册 定價金參拾五錢 郵税金四錢

▲最新地形學詳說 全一册 定價金六拾五錢 郵税金六錢

▲基本射擊教育 全一册 定價金參拾錢 郵税金四錢

▲命中卜効力 全一册 定價金五拾錢 郵税金六錢

▲軍隊統御法 全一册 定價金貳拾錢 郵税金貳錢

▲新步兵操典引初級戰術研究錄 定價金五拾錢 郵税金六錢

▲野外引初級戰術研究錄 定價金四拾五錢 郵税金六錢

▲兵器學常識問答 定價金四拾錢 郵税金貳錢

▲新舊(改正)步兵操典 定價金四拾錢 郵税金六錢

▲新兵野外教育計畫 定價金參拾錢 郵税金四錢

▲測板測圖必携 附手簿 全一册 定價金貳拾錢 郵税金貳錢

▲軍隊教育

計畫實施

進度對照

前編正價四拾錢郵稅金六錢
後編正價三拾錢郵稅金四錢

▲三版兵棋必携

附錄(行軍長徑一覽例)

定價金貳拾五錢
郵稅金四錢

▲最新兵器

學

全一冊
定價金八拾錢
郵稅金四錢

▲兵卒教育學科問題集

全一冊
定價金拾五錢
郵稅金貳錢

▲夜間演習教育方案

全一冊
定價金三拾錢
郵稅金貳錢

東京市四谷區本村町九番地

發行所 菊地屋 軍事學指針社

張替口座東京九〇三二番

341
266
673

